

高知県の原木生産量（令和 5 年）の公表について

高知県における令和 5 年の原木生産量について、お知らせします。

1 高知県の原木生産量（令和 5 年）について

令和 5 年の原木生産量は 708 千 m³ となり、令和 4 年と比べると 28 千 m³ の減（対前年比 96%）となっています。

その需要部門別の内訳は製材用で 400 千 m³、合板等用で 47 千 m³、木材チップ用で 108 千 m³ となっています。

また、木質バイオマス関連施設（木材統計調査の対象外）の原木入荷量は 153 千 m³ となり、令和 4 年と比べると 9 千 m³ の増となっています。

（単位：千 m³）

区 分			令和 4 年	令和 5 年	増減	備考
原木生産量 ① = (a) + (b)			7 3 6	7 0 8	▲ 2 8	
	木材統計 (a)		5 9 2	5 5 5	▲ 3 7	農 林 水 産 省 調 べ
		製材用	4 3 6	4 0 0	▲ 3 6	
		合板等用	1 5 6	4 7	▲ 1	
		木材チップ用※ 1	※ 2	1 0 8		
	木質バイオマス関連施設 (b)		1 4 4	1 5 3	9	高 知 県 調 べ
	原木	1 4 4	1 5 3	9		
	(参考)枝条等 ②	(9)	(9)	(0)		
(参考) 枝条等を含めた生産量 ① + ②			(7 4 5)	(7 1 7)	(▲ 2 8)	

※ 1 木材統計の木材チップ用の数値には、木質バイオマス関連施設への原木の入荷量は含まれていません。

※ 2 令和 4 年の木材統計においては、高知県の製材用の数値が公表されている一方、合板等用及び木質チップ用の数値が公表されていないことから、素材生産量の合計値から製材用の数値を除いて算出しています。

〔集計方法〕

令和 6 年 7 月 19 日に農林水産省により公表された「令和 5 年木材統計」の素材生産量の調査対象は、製材工場、合単板工場、木材チップ工場、集成材工場、L V L 工場及び C L T 工場となっています。この統計には、県内 2 ヶ所で稼働する木質バイオマス発電所等への原木の入荷量が含まれていないため、平成 27 年から高知県が木質バイオマス関連施設の原木入荷量を調査し、これを加えて高知県全体の原木生産量として公表しています。

2 今後の取り組みについて

令和4年の原木生産量は、前年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）の影響により、平成22年以降では最高値となっていました。

令和5年の原木生産量は、こうした生産拡大の反動やウッドショックの影響がなくなったことなどから、全国※と同様に前年よりも減少したものと考えています。

本県としては、川下の需要に応じた弾力的な原木生産と持続可能な森林づくりを推進するため、森林クラウドの活用や先端林業機械の実証に取り組むとともに、引き続き高性能林業機械の導入や効率的な作業システムの構築に向けた支援などを行い、令和9年の原木生産量の目標である850千 m^3 の達成のため、林業・木材産業の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

※全国の木産生産量

令和4年：22,082千 m^3 → 令和5年：20,643千 m^3 （▲1,439千 m^3 ）